

# 篠崎史紀 ヴァイオリンリサイタル

ピアノ：佐藤卓史

## 1部

ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ第1番 ニ長調・・・・・・シューベルト  
ソナタ第5番 ヘ長調「春」・・・・・・ベートーヴェン

## 2部

MAROワールドの世界からトークを交えてご紹介いたします。

今宵限りの感動のプログラムをどうぞお楽しみください。

春

## 2015 四季コンサート

2015年4月13日(月)18:00開場 18:45開演

会場：アクトシティ浜松中ホール

主催：浜松音楽友の会

### プロフィール

#### 篠崎史紀 (ヴァイオリン)

3歳より、多くのプロを輩出した父・篠崎永育、幼児教育の第一人者である母・篠崎美樹の両氏にヴァイオリンの手ほどきを受ける。その後、田中令子、江藤俊哉、トーマス・クリスティアン、イヴリー・ギトリス各氏に師事、室内楽をバリリ・クアルテット、アマデウス・クアルテットのメンバーに学ぶ。1978年毎日学生音楽コンクール全国第1位受賞、79年には史上最年少で北九州市民文化賞を受賞し注目を浴びる。81年高校卒業と同時にウィーン市立音楽院に留学。88年ウィーン市立音楽院を修了後、群馬交響楽団コンサートマスターを経て91年より読売日本交響楽団コンサートマスターとして活躍。そして97年4月NHK交響楽団コンサートマスターに就任（現在は第1コンサートマスター）。東京ジュニアオーケストラ・ソサイエティおよびiichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ（大分）芸術監督を務めるなど後進の育成にも力を注いでいる。04年より銀座の王子ホールで新プロジェクト「マロワールド」が始動。発売当日に完売という人気シリーズである。これまでに12枚のCDをリリース（あ佳音レーベル）。著書に「ルフトパウゼ」（出版館ブック・クラブ）他多数がある。

#### 佐藤卓史 (ピアノ)

東京藝術大学を首席で卒業し、ハノーファー音楽演劇メディア大学およびウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。2004年日本ショパン協会賞受賞（史上最年少）。07年シューベルト国際コンクール、11年カントゥ国際コンクールで第1位。12年の第8回浜松国際ピアノコンクールでは第3位ならびに室内楽賞を受賞した。これまで、日本フィル、シドニー響、ベルギー国立管等に出演するほか、カール・ライスター、堀米ゆず子、篠崎史紀、佐藤俊介、米元響子などと共演を重ねている。最近では、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団（音楽監督就任披露演奏会）公演に出演。内外のアーティストから厚い信頼を寄せられ、今後の活躍が期待されるピアニストである。

公式ウェブサイト <http://www.takashi-sato.jp>



## 篠崎史紀 ヴァイオリンリサイタル



## FUMINORI "MARO" SHINOZAKI VIOLIN RECITAL

写真：K.MIURA

# 噂のMAROワールド

～佐藤卓史のピアノと共に～

あだ名は「マロ」。今宵のソリストであり、NHK交響楽団の第1コンサートマスター篠崎史紀のことだ。

派手な裏地の燕尾服で登場するNHK交響楽団の定期公演。何十人もの団員を背に、指揮者とコンタクトを取りながら、まさに「theクラシック」の世界を創り上げていく。ステージを降りても派手さ加減は変わらず・・・、たとえば新幹線のホームでも、遠くから近寄ってくるのがわかるような存在、それはまさにオーラである。そんな存在の篠崎、際立つ演奏とトークで高い人気を誇っている。2004年より銀座・王子ホールでスタートしている「MAROワールド」は、発売開始から数十分で完売になる名物企画で、コンサートには様々なアイデアが盛り込まれていると言われ、是非とも一度は聴きたいと切望しているファンが多い。

さて篠崎といえば、早くからウィーンに留学をしていたことでも有名である。ステージ上では、音楽を交えてウィーンの「あれこれ」、そして「音楽」を紹介。ときには、「何聴きたい？」などと客席に向けて話をする場面も。こんな一言で、客席の一番前でカチコチになって聴いていた子供に笑みが浮かび、その瞬間に客席とステージに一体感が生まれる。そんな距離感を大切にしたいと話す篠崎が、今宵はヨーロッパのどこの国へと音楽の旅に連れていってくれるのだろうか。

浜松音楽友の会の四季のコンサートは、今年度からここアクトシティ浜松に会場を移して開催される。その最初の公演に、人気の篠崎史紀に登場いただいた。また、ピアニストには2012年浜松国際ピアノコンクールで3位入賞を果たした佐藤卓史を迎える。佐藤は、昨年よりライフワークにしたい・・・と「シューベルトツィクルス」プロジェクトを始動している。全曲終える頃には何歳になっているのか、という位の長期プロジェクトである。「ソリストがどのように引っ張っていってくれるのかが楽しみ」と語る佐藤からも目が離せない。今宵は、ヨーロッパの香り溢れる「マロ&佐藤」の音楽を十分お楽しみいただきたい。

※演奏者の希望により曲目解説はありません。

●「篠崎史紀ヴァイオリンリサイタル第二部演奏曲について」

ボッケリーニ作曲／「メヌエット」

----ボッケリーニ作曲／「弦楽五重奏曲ホ長調 G275 第三楽章」

ドボルザーク作曲／「ユーモレスク」

マスネ作曲／「タイスの瞑想曲」

ゴセック作曲（前山仁美編）／「ガヴォット」

クライスラー作曲／「美しきロスマリン」

（ピアノソロ）シューベルト作曲／「即興曲 D899（作品 90）No. 2」

ラフマニノフ作曲（クライスラー編）／「祈り」

----ラフマニノフ作曲／「ピアノ協奏曲第二番第二楽章」より

レハール作曲（篠崎史紀編）／「メリー・ウィドウ・ワルツ」

ジーツィンスキー作曲（篠崎史紀編）／「ウィーン我が夢の街」

パラディス作曲／「シチリアーノ」